

月

報

視聴覚教育

「」の一年の歩み

学習情報指導員　名倉　嘉章

今年度、特筆すべきことは、現職教育委員会組織の中の視聴覚部を学習情報部と改称し、視聴覚主任会と情報教育主任会を配下に置いたことである。これにより、教育活動において、情報メディアを統合的に実践・研究を進める体制が整った。

活動面では、まず、自作教材コンクールの関係で、全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、

自作教材制作委員会の出品した6作品全てが入賞（優秀賞2点、入選4点）したことなどが大きな成果である。また、愛知県自作視聴覚教材コンクールにおいても、自作教材制作委員会の作品が、最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞3点、佳作1点を受賞した。個人でも優秀賞2点、優良賞1点、佳作3点を受賞した。研究実践・論文では、松下視聴覚教育研究賞で、城北中学校が理事長賞を受賞し、松下実践研究助成では、テーマ研究（2年）において、山中小学校、一

□ NO. 271
□ 発行日
□ 13. 3. 16
□ 発行 岡崎市 AVL 集
□ 編 現職教育委員会 学習情報部

『サーキュレーション』
インターネット上で、目的とするサイトを探すため
にデータベース的な役割を
果たすサイト。代表的なも
のにYahoo!, Alta Vistaなど
がある。【同】検索エンジン

視聴覚用語

II 視聴覚教育あれこれ II

★2000年度

松下視聴覚教育研究賞 理事長賞

岡崎市城北中学校

「自ら学び主体的に生きる生徒の育成」

「情報と空間の相互共有による新しい授業の形態を探る」

般研究（1年）において、六ヶ美西部小学校、竜南中学校が指定され、研究を進めている。

施設・設備の面では、市内の小中学校と教育委員会事務局を結ぶ地域インターネット、「岡崎教育ネットワーク」が構築され、第一段階として、教務端末が設置された。また、小学校インターネット環境がISDNに変更された。今年度は特に、教師の活用する教育データの整備、派遣依頼や提出文書等の電子化、全教職員へのメールアドレス配布によるネットワーク利用促進を図った。各小中学校においても、職員室内LANが整備され、情報の共有化が進んでいる。

こうした状況に合わせ、情報教育推進委員会が、市全体のマルチメディア開発事業を推進した。また、教員研修では、情報開発センターによる教務主任パソコン研修や、学習情報部によるパソコン・ネットワーク講習会を開催した。

この実践に裏づけされて、今年度も文部科学省等から視聴覚・情報教育関係で八つの研究委託を受け、研究開発事業を進めている。このことは、岡崎の視聴覚・情報教育の質をさらに高めることにもなっている。

★岡崎市視聴覚教育賞受賞者

（二月二十三日表彰）

- ・岡崎市立城北中学校（松下視聴覚教育研究賞理事長賞）
- ・『地域に根ざした放送局』制作グループ
- ・『ダチョウ牧場—畜産の新しい試み—』制作グループ
- ・『Joyful English—現在完了形—』制作グループ
- ・『外山古墳—古墳が語るもの—』制作グループ
- ・『どぶろく祭りを伝える』制作グループ
- ・『きれいな川を取り戻すのは誰』制作グループ
- ・浅井君枝（岡崎市立美川中学校）
- ・鷹見京子（岡崎市立矢作東小学校）

インターネットを使った総合学習

岡崎市立生平小学校 杉浦 史絵

本校では、総合的な学習の時間として愛鳥活動を進めている。毎週火曜日の一時間目には、学区内のバードウォッキングを行っている。一年生時からの積み重ねにより、学年を重ねるごとに野鳥の知識も豊富になってきている。

今年度は、野鳥について知つてきたことを地域の人たちに知らせる活動の一つとして、パンフレット作りに取り組んでいる。普段の観察活動や本による調べ学習で子供たちはかなりの知識を得ている。二学期からは新たに利用できるようになつたインターネットも非常に有効な手段として利用することができた。インターネットは、最新の情報をいち早く収集でき、さらに他地域での情報も知ることができる。今まで一面的な観察しかできなかつた子供たちにとつて、違った観点からの情報は、その後の観察活動に十分に生かすことができた。



オリジナルCD作成にトライ

ノートパソコンでもCD-R/RW搭載の機種をよく見かけるようになつてきました。職員室の教務端末にもこのCD-R/RWが搭載されています。CD-R/RWはオーディオやパソコン用のCDを作成する機器です。年度末を迎える、一年間の学級活動や研究の成果をまとめた時期ですが、CD-R/RWを利用してオリジナルCDを作成してみてはどうでしょうか。

本年度作成した学校や学級のホームページ等のHTMLデータをCDに焼き込んだり、ワード等で作成した研究論文をCDに焼き込んだりしておけば、省スペース化が図れ、半永久的に記録を残すことができます。また、オーディオカセットに録音した合唱コンクールの発表を、CDに焼き付け記念として残すこともできます。この場合は、テープレコーダーの出力端子と、パソコンの入力端子をつないで、ハードディスク上に一時的にWAVEファイルを作成した後、ライティングソフトでCDに焼き付ける作業を行います。

最近では、ビデオ入力端子を備えたパソコンも普及してきました。このパソコンでは、ビデオをパソコンで再生できるばかりでなく、フロッピディスクの約四四〇倍の容量を持つCDを有効に利用してみましょう。

※先回、メールアドレスの検索について紹介しましたが、これは教育研究所のサーバに直接接続されている学校内のネットワークでのみ利用可能です。ご了承下さい。

(情報教育主任会 広報部)

ライブブライダより

愛知県自作視聴覚教材コンクール決まる！

県教育委員会・県視聴覚教育連絡協議会主催による平成12年度「愛知県自作視聴覚教材コンクール」岡崎市からビデオ教材8点、OHP教材9点、マルチメディア教材3点を応募した結果、次の作品が選ばされました。

☆最優秀賞

（ビデオ部門）
「外山古墳・古墳が語りかけてくるもの」

自作教材制作委員会A班・AVL 代表 梅園小 村田 貴志

☆優秀賞

（ビデオ部門）
「きれいな川を取り戻すのは誰」

自作教材制作委員会E班・AVL 代表 矢作中 岡 秀之

☆優良賞

（ビデオ部門）
「どろく祭りを伝える」

自作教材制作委員会C班・AVL 代表 連尺小 倉地 耕治

☆優良賞

（ビデオ部門）
「OHP教材部門」

「日を大切にしよう」

自作教材制作委員会C班・AVL 代表 浅井 君枝

☆優良賞

（ビデオ部門）
「物語文「てがみ」」

自作教材制作委員会D班・AVL 代表 矢作東小 鷹見 京子

☆優良賞

（ビデオ部門）
「吉田佐久島」

自作教材制作委員会F班・AVL 代表 北 中 太田 幸也

☆佳作

（ビデオ部門）
「過疎が進む中で、色町佐久島」

自作教材制作委員会B班・AVL 代表 東海中 鈴木 優

☆佳作

（ビデオ部門）
「マルチディア教材部門」

「どう？交通安全」

自作教材制作委員会G班・AVL 代表 矢作中 小川 規博

☆佳作

（OHP教材部門）
「ほかねこのバニーが大好きだった」

自作教材制作委員会F班・AVL 代表 矢作小 遠山 洋子

編集後記

二十世紀から二十一世紀への変わり目の年、視聴覚教育も大きく変わろうとしています。「遊び」へのサポートができるよう、ライブブライダの活動もより充実させていきます。皆様から、さまざまな新しい情報や実践例をお寄せ頂きありがとうございました。